

市民との意見交換会 概要（R8.3.14 産業建設常任委員会）

発言者	ご意見等の概要	委員の回答
1人目 男性	<p>○令和8年第1回定例会に提出された「議第1号議案 アメリカとイスラエルにイラン攻撃の即時中止を求める決議」について</p> <p>加須市議会では、令和7年第4回定例会で議員提出議案「議第6号議案「戦のない世界を 核兵器のない地球を」日本政府に核兵器禁止条約の参加・批准を求める意見書」が、賛成多数で可決され、私も大変うれしく思っておりました。しかしながら、令和8年第1回定例会に提出された「議第1号議案 アメリカとイスラエルにイラン攻撃の即時中止を求める決議」については、賛成少数で否決されたとお聞きし残念に思っております。</p> <p>それぞれのお考えがあらうかと思いますが、同じ平和に関する内容で、一方が否決となった理由について教えていただければ幸いです。</p>	<p>【内田昇委員】</p> <p>個人的な見解となりますが、過去に世界を旅して多くの国を訪れました。その際に、平和の在り方はそれぞれの国によって違いがあるのだと感じました。もちろん戦争には反対の立場ですが、現在のアメリカとイスラエルのイランに対する攻撃については、日々情報が変化しており、現段階で判断することが難しいと感じていることから、令和8年第1回定例会に提出された議第1号議案には反対の立場を取らせていただきました。</p>
2人目 男性	<p>○令和8年4月の道路交通法改正に伴う自転車への影響と市内道路について</p> <p>4月から自転車の運転にも青切符が導入されると伺っています。市内の道路整備状況を考えると、自転車専用レーンの整備は難しいと思いますが、「自転車通行可」の標識をたくさん設置していただけないでしょうか。また、道路の路肩の整備状況が悪いと感じているので、改善を要望します。</p>	<p>【田中委員】</p> <p>本市の道路整備状況が大変良くないと私も感じています。例えば、大利根東小学校の通学路について、こどもの安全第一で整備を進めていただいているところです。他市の事例も参考に道路整備を進めていただけるよう取り組んでまいります。</p>
3人目 男性	<p>○埼玉大橋及びその周辺の交通状況について</p> <p>埼玉大橋では、渋滞することが多く困っています。第2の橋を建設するうわさを聞いたことがありますが、ぜひ早期に実現できるようお願いします。また、埼玉大橋を北川辺側から渡ってくると、午前6時～9時まで右左折禁止の手押し信号があるが、例えば脇から合流する車は、手押し信号を押して流れを止めて合流してきますが、これも渋滞の原因の一つとなっていると思います。</p>	<p>【田中委員、及川委員】</p> <p>埼玉大橋周辺の渋滞については認識しております。市議会では、市長や板倉町など関係機関と新橋の実現に向けて協議会を設置しており、埼玉県知事及び群馬県知事と面会し、早期の新橋建設を要望しているところです。</p> <p>お話しにあった信号については、お伺いした通りだと思いますので、これから検討、要望してまいります。</p>
3人目 男性	<p>○災害時における自家用車等の避難場所について</p> <p>隣の板倉町では、令和元年の台風19号以降、災害時に4,000台の自家用車等が避難できる場所を確保されていると聞いています。北川辺地域内にある利根川のスーパー堤防には、野球場くらいの広い場所があるので、災害発生やその恐れがある時は、そこに自家用車や農機類を避難できるように活用を検討していただきたい。</p>	<p>【及川委員】</p> <p>板倉町では、地域内に高い場所があることから、そこを活用していると伺っています。本市では、北川辺地域、大利根地域、樋遣川地区、大越地区には高い場所がなく、その他の加須地域や騎西地域に広域避難することになっており、駐車場も広域避難先に用意されている状況です。お話しにあったスーパー堤防の広い場所の活用については、農家の方からもご要望を頂いておりますので、今後の課題として捉えております。活用について様々なご意見を伺いながら進めて参りたいと考えております。</p>

発言者	ご意見等の概要	委員の回答
3人目 男性	<p>○防災ラジオについて</p> <p>先日、防災ラジオで番組を聞こうとしたら、雑音でほとんど聞こえませんでした。もしかしたら防災情報は聞けるのかもしれませんが現状を考えると心配しております。市は、特に台風などの災害発生リスクが高まる時期の前に、区長さんなどと連携して、防災ラジオの受信具合を確認していただきたいと思います。</p>	<p>【及川委員】</p> <p>防災ラジオについては、全世帯に無償貸与としていますが、普及率は約3割とのことです。また、聞こえづらはこれまでも確認されており、改善のためアンテナを設置するなど対応が進められているところです。また、防災ラジオの関連となりますが、防災無線が令和11年に現在の方式が使用できなくなるため、新たな方式によるデジタル防災無線の整備が進められており、令和8年度には、その整備の実施設計に必要な予算が措置されています。デジタル防災無線に変更されることに伴い、現行の防災ラジオが使用できるかは、現在、国と協議中とのことですが、使用できるようにしてほしいと考えております。防災ラジオも防災無線も、市民の皆様にはしっかり情報が伝わるように整備していくべきと考えております。</p>
4人目 男性	<p>■市政に関する情報提供について</p> <p>意見交換会という事ですが、本日は、私が様々な場面で聞いてきた市民からの情報をお伝えしたいと思いますので、回答は結構です。</p> <p>①加須市が現在進めている学校の統廃合について、資料を拝見しましたが、ただの人数合わせではないかと感じています。また、市民から久喜市では中高一貫校が始まるが、加須市は小中学校の両方の先生ができる人がどれくらいいるのか把握しているのかと聞かれたことがあります。</p> <p>②ふるさと納税について、加須市が増えていると喜んでいますが、まだまだだと感じています。茨城県境町では、数年前は60万円程度だったのが、今では90億円以上と大幅に増えています。また、境町関連としては、町が住宅を建てて、25年以上住み続けられれば無償譲渡されるなど、新しい取組をされています。</p> <p>③不老荘が廃止されましたが、現在は空き家となっています。高齢の方からは、市は空き家対策を進めているが、不老荘自体が空き家になっているが、あれはいいのだろうか、という意見があります。</p> <p>④未来館のクラウドファンディングでは、予定額より少ない約145万円が集まり、この金額以内でリニューアルされるという事を伺いましたので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>⑤ごみ焼却施設について、基幹改良工事が行われるとのことですが、私は2年前の意見交換会でもごみ焼却施設を発電所にしてほしいと要望しました。近隣の自治体でも余熱で発電する取組をされているところもあるので、ぜひ進めていただきたい。</p> <p>⑥防災士をしています。久喜市では防災公園管理棟を建設すると伺っています。加須市でも防災士の育成だけでなく、例えば未来館の中に活動する場所を設けるなど考えていただきたい。</p> <p>⑦加須市の公共施設の屋根が空いているので、太陽光発電を設置したほうが良いと思う。</p> <p>⑧市は何をするにも「お金がない」と言いますが、他の自治体では首長が自らの給与を下げて財源確保に取り組んでいます。</p> <p>⑨加須駅の東武ストアが閉店したが、衆議院議員なり県議会議員と一緒に交渉しているのかわからないとの話がありました。</p> <p>⑩加須駅前については、午後6時には閉まってしまいますので、イオンやオコーに行くしかないという話がありましたので、何か対策を考える必要があると思います。</p>	<p>【赤坂委員長】</p> <p>茨城県境町の取組については、市議会の会派視察で伺いました。町長がとても積極的な方で、国や県の補助金をとても上手に活用されており、若い方を呼び込む取組をされています。町長の考え方で、ここまで変わるのかと痛感しましたので、加須市でも同様の取組ができればよいのではと考えております。</p>

発言者	ご意見等の概要	委員の回答
5人目 男性	<p>○加須市のごみ焼却処理について</p> <p>大利根クリーンセンターは、今後、加須クリーンセンターに統合されると伺いました。市によって、プラスチックの処理の仕方が違うという事で、以前個人的に調べたところ、加須市では、炉の強度の問題で加須市は分けており、プラスチックは燃料として売却していると伺いました。</p> <p>様々なものにプラスチックが使用されており、プラスチックごみは多く出ます。加須クリーンセンターの焼却炉を新しくするとのことですので、プラスチックのごみも一緒に処理できるようにしていただきたいと思います。北川辺地域と大利根地域の住民は、搬入で不便となるので、別の面で少しでも便利になるように取り組んでいただければと思います。</p> <p>プラスチックごみの中には、食品などひどく汚れているものもあると思いますが、そういったものも売却されているのか。もし売却されていないのであれば、生ごみだけでは焼却できないと思っているので、売却可能なプラスチックのみ分別する等の対応ができないか、議員の皆さんにも調べていただきたいと思います。</p>	<p>【及川委員】</p> <p>加須市では、ごみをしっかり分別して、資源化に取り組んでいます。また、加須クリーンセンターの焼却施設の改良工事は、施設内の古くなったものを部分的に改修するもので、ごみの焼却の方法などを変更するものではないと伺っています。ごみを可能な限り分別して焼却するもの減らすという事で取り組んでおりますので、ご理解いただければと思います。</p> <p>【赤坂委員長】</p> <p>一定以上の温度で焼却されないとダイオキシンなど環境への悪影響もありますので、売却できていないプラスチックがある場合の焼却対応については、今後調べてまいりたいと思います。</p>
6人目 男性	<p>○市の行政機能の適正管理について</p> <p>市議会議員の皆さんには、市に対してしっかり市内を管理するよう厳しく指導をしていただきたいと考えています。以下、地区内で困っている4つの事項について申し上げます。</p> <p>①先日、元和橋から栗橋北彩高等学校に抜ける道路の水道管が破裂しました。これまで2回以上水道管が破裂しています。この道路はガタガタです。また、アスベスト管が40年以上たってもまだ使用されており問題だと思っています。この道路は都市計画道路で拡幅するようになっていくが、市は整備を進めようとしていません。水道課は、アスベスト管への対応を早く進めたいと話しているが、大利根総合支所はまったく動いていません。一緒に行いたいという事なら、なぜ都市計画道路に決定しているのに、対応しないのか。とてもあいまいな行政だと感じています。</p> <p>②北下新井の五差路について、朝夕の渋滞について、何度も市に訴えているが対応してもらえません。また、工業団地からアスタホールに向かう車は、アスタホール側から車が来ているとなかなか右折ができません。これは当初から何度も訴えていますが、対応がされません。</p> <p>③野中土地区画整理事業は、昭和から令和の現在まで、50年以上経ちますが、まだ完成していません。これは全国的に見てもあまりない事態だと思います。また、事業地内では今ごろ調整池の掘削をしているようですが、これはおかしいと思います。調整池は、計画を始める当初から並行して作るべきだと思います。さらに、当初計画から規模を縮小しましたが、それにより不利益を被った人もいます。</p> <p>④自治協力団体要望書について、市からは毎回同じような内容の回答です。そのため、私たちの自治会では、昨年度から出すだけ無駄だと思い要望書を出さなくなりました。</p>	<p>【田中委員】</p> <p>ご指摘いただいた道路は、確かに補修跡などでひどい状態であり、また、狭い道路であると認識しています。市では、石綿セメント管については、毎年約5キロメートルずつ更新していく計画を進めていると伺っておりますので、引き続き計画的に更新されるよう注視してまいります。</p> <p>また、五差路を整備するため、市が周辺の土地の買収を進めていると伺っています。調整ができた部分から、整備を始めるよう市に要望してまいります。</p> <p>【高橋委員】</p> <p>県道羽生栗橋線については、現在、大利根中学校の南で整備が止まっていますが、これまでの西側からだけでなく、東の方からも整備を進めるという話も聞いていますので、五差路の状況も変わってくると考えています。</p>

発言者	ご意見等の概要	委員の回答
7人目 男性 (2巡目)	<p>○加須市内の周辺部（北川辺地域など）に対する議員の認識について</p> <p>現在、北川辺地域の人口は約1万人であり、合併前と比べると2千人以上は人口が減っている状況です。また、高齢者の割合は約39%であり、加須市全体の割合より高くなっています。合併前に危惧していたのは、合併後は市の内の周辺部から廃れていくということでした。北川辺地域は危惧していたように、現在、衰退の一途をたどっているのかなと感じています。加須駅周辺の話をよく聞きますが、今、危機的なのは周辺部ではないかと感じています。議員の皆さんがこのことについて、どのように考えているのか伺います。</p> <p>渡良瀬遊水地を活用して人を呼び込む取組には賛成です。そのためにも、柳生駅のエレベーター設置や遊水地側に出入口を設置するなど実現していただきたいと思います。</p>	<p>【内田委員】</p> <p>私も今のお話でいうと南の周辺部にあたる騎西地域に住んでいます。騎西地域から北川辺地域を見ますと、渡良瀬遊水地など非常に自然に恵まれているという印象です。また、地域内には鉄道も走っていて、その恵まれた自然という資源を活用して、熱気球を体験できるなど、地域外から人を呼び込むレジャーとしての取組を少しずつ始められていると考えています。</p> <p>また、北川辺地域の反対の周辺部になる騎西地域については、市内では比較的水害に強いという利点があります。また、地域内には廃校となった高校がありますので、そこを拠点にスポーツを中心とした地域おこしをしていければと考えています。そして、地域を盛り上げるための大事なことは、地域から声を上げ続けることだと考えています。</p> <p>【及川委員】</p> <p>周辺部が廃れてしまうという事は、合併前にそのような心配する声がありました。現在、加須市では小学校の統廃合や公共施設の統廃合が進められていますが、人数や規模で統廃合を進めると、地域の核となる施設がなくなり、余計に人口減を招いてしまうと懸念しています。ぜひ、市民の皆様からも地域が廃れていかないように、市に地域の声を取り入れてもらうように、声を上げていただきたいと考えております。</p>
7人目 男性 (2巡目)	<p>○高齢者施策に対する議員の認識について</p> <p>高齢者の割合が増えている中、数年前に老人福祉センターが閉鎖されました。高齢者がカラオケやお風呂などを楽しめる施設であり、閉鎖されたことは由々しき事態だと思いました。市に高齢者が集まって楽しく過ごせる施設を造ってほしいと話をしますが実現されません。議員の皆さんがこのことについて、どのように考えているのか伺います。</p>	<p>【赤坂委員長】</p> <p>加須市では、高齢者が楽しめるグランドゴルフなどアウトドアスポーツには目を向けていますが、お話にありましたカラオケなどインドアで過ごすことに、現状あまり目を向けられていないと考えております。本日のお話しを受けて、高齢者が安心して楽しく過ごせる施設について、今後、議会でも提案できたらと感じました。</p>

発言者	ご意見等の概要	委員の回答
8人目 男性 (2巡目)	<p>○地域の声を反映するための住民協議会の設置について</p> <p>合併前に北川辺地域は廃れてしまう、地域の意見をどのように反映するのか懸念がありました。合併を進めていた当時の町長は、合併後は住民協議会を設置して、そこで地域の声が反映されると説明されていましたが、他地域の反対があり実現されておらず、地域の声が反映されていないと感じています。北川辺地域では、地域の若い人などが集まって市民会議を開いて、様々な意見、アイデアを出し合いました。しかしながら、市の施策に反映されることはありませんでした。地域の若い人たちもやる気があって、先ほど話に出たアウトドアを活かした取り組みなど、いきいきとした意見を出してくれる住民がいますので、ぜひ、そういった地域住民の声を市の施策に活かしていける「住民協議会」を作っていただきたいと思います。</p>	<p>【赤坂委員長】</p> <p>ご要望はしっかりと受け止めさせていただき、今後、進めさせていただきたいと考えております。また、北川辺地域の関連で、私や会派の同僚議員も、北川辺地域は市内で一番アウトドアの遊びが楽しめる場所だと考えておりますので、今後は、その点についても市に呼び掛けていきたいと思っております。</p>
9人目 男性 (2巡目)	<p>○ねんりんピックへの対応について</p> <p>今年の11月に加須市でねんりんピックのグラウンドゴルフ大会が行われます。開催にあたり、昨年度、市議会の一般質問でも様々な話しをしていただきましたが、結局芝生の張替えをして終わってしまった。照明については、まだ水銀灯でLEDに交換されていない。お手伝いをされている方からは、この状態で全国からお迎えできるのかと心配の声が上がっています。芝生だけでなく、その他の施設設備も整えなければならないと考えますが、市はどのように考えているのか伺います。</p>	<p>【内田委員】</p> <p>ねんりんピックに関する事業は、産業建設常任委員会の所管ではないため詳細なお答えは難しいですが、スポーツ関連として申し上げます。加須市は、スポーツのまちとして、「女子野球の聖地」や「クライミングの聖地」など掲げています。しかしながら、受け入れるための加須市の施設は、設備が整っておらず憤りを感じています。市が自ら聖地と掲げるのであれば、設備をきちんと整える必要がありますので、今後もこの点を市に訴えていきたいと考えております。</p>
10人目 男性	<p>○北川辺地域の観光支援について</p> <p>北川辺では、渡良瀬遊水地、三県境や沼など地域の観光資源がたくさんあるので、これらを有効活用していただきたい。これらには集客力があり発展性があると思っておりますので、市には積極的に取り組んでいただきたい。現状はなかなか時間がかかり進まないようですが、若い人たちがどんどん離れていってしまい、人口減の悪循環から脱するためにもしっかりと取り組んでいただきたいと思っております。</p>	<p>【赤坂委員長】</p> <p>北川辺地域の観光資源の活用については、市議会でも多くの議員が市に積極的に意見を述べております。例えば、渡良瀬遊水地に多くの方が気軽に来ただけのグランピング施設の建設なども提案していますが、市の腰が重く実現に至りません。これらも含め、北川辺地域の観光資源の有効活用については、引き続き強く訴えてまいります。</p>
10人目 男性	<p>○議会改革検討委員会における議員定数や議員報酬に関する今後の検討について</p> <p>市議会には、議会改革検討委員会が設置されておりますが、加須市議会基本条例第29条に定めている「議員定数」や「議員報酬」に関して、今後どのような検討に入るのか、進捗を伺います。</p>	<p>【竹内議長】</p> <p>議員定数の削減については、過去、自治協力団体からの要望があり、市議会内でも議論がされ、定数削減に賛成の議員もいれば、反対の議員もおりました。例えば、鴻巣市は、人口は同じくらいですが、面積は半分以下です。加須市は県内で2番目に面積が広く、単純な人口割で定数を押し量れないところがあります。</p> <p>様々な協議の結果、令和5年の市議会議員選挙から議員定数を28名から25名に削減いたしました。現状としては、市議会として新たに議員定数の削減は考えておりませんが、今後、自治協力団体等から、ご要望などございましたら、改めて議論がされるものと考えております。</p>